

こだなか

編集・発行/大ヶ谷戸
小田中町会広報部



年頭のご挨拶

町会長 齊藤 春夫

明けましておめでとうございませう。皆さまにおかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。日頃より町会行事や活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年、新規事業として「上小田中高架下公園管理運営協議会」が発足し、活動を開始しました。また粗大ゴミの不法投棄やゴミだらけだったツツジの緑地帯の周辺も季節の花々に一変。慌ただしく行きかう交差点で、鮮やかな花の色合いが、

人々の心が少しでも穏やかになるようになれば、と願っています。本年もさらに、町会全域に美化を促進していきましよう。

みんなで美化・防災対策を

さて、3・11東日本大震災により、大津波で一瞬にして破壊された東北地方の記憶は消えることはありません。余震の恐怖でおびえる中、助け合い、励まし合う様子がテレビで映し出されるたびに、心が痛みました。

ここ、川崎においても、関東大震災級の地震発生が予測されています。いざという時、ここにいる私たち一人一人が、知恵を出し合い、共に支えることが必要です。そのためには

日頃から地域を取り巻く課題、少子高齢化・防犯・ゴミ・環境保全などに関心を持つように心がけたいものです。一人の知恵と力で解決可能なものは何一つありません。お互いに支え合い協力し合ってこそ、道が開けます。「人が地域を作り、地域が人を支える」―皆さまの絆と連帯で、安心・安全な住みよい町、小田中を構築していききたいと思っております。

最後に、皆さまのご健勝とご多幸をお祈りし、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願ひ申しあげます。



齊藤会長も率先して美化運動を推進

上小田中高架下公園

管理運営協議会を設置

昨年7月から、川崎市と当町会との協働で、町会館に隣接する上小田中高架下公園の管理を運営することになりました。

発起人は、すみれ会会長の黒沼久子さん。

「雑草や散乱したごみを一掃し、清潔で、幼児たちが安心して遊べる公園にしたい」との願いが動機に。

そこで、市会議員の川島まさひろ氏を紹介し、市職員の助言を得て、上小田中高架下公園管理運営協議会を設置することに。メンバーは、すみれ会・こども会・婦人部・町会役員の代表16人で構成。同協議会の適正な運営を図るため、会則も作成。

毎月2回、除草・清掃等を実施

その上で、同協議会と川崎市との間で地元管理に



清掃、ごみの回収に励む管理運営協議会メンバー

する協定を締結し、毎月2回、清掃、除草、ごみの回収、砂場内のごみの除去等を実施することになりました（※役員・婦人部・こども会の代表は毎月1日に、すみれ会は第2木曜日定例会終了後に実施）。

黒沼さんは、「この地元町会の管理・運営によって、公園が常々清潔で利用者の安らぎの場になり、少しでも明るく住みよい街づくりの一助になれば、と願っています」と語っています。

マイタウン ハイライト

備蓄品使用し防災訓練

「災害用備蓄品の使い方を学ぼう」をテーマに、当町会の防災訓練が10月6日、避難所に指定されている市立聾学校の体育館で実施されました。

備蓄倉庫内の備品を確認

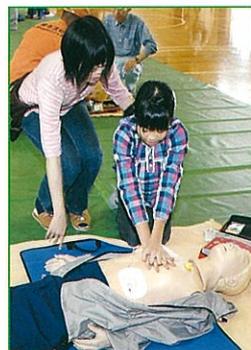
発電機・毛布・水・簡易トイレなど、備蓄状況を確認。備蓄品の数には限りがあり、各家庭での災害用品の備えの大切さを改めて痛感。



聾学校・巴校長から災害用備蓄品について説明を受けたあと、二班に分かれ、全員で備蓄倉庫を視察。続いて、四班に分かれて、中原消防署、地元消防団の指導・助言を得て、簡易トイレの組み立て方・心肺蘇生訓練・搬送訓練・結策訓練などを研修しました。

AED心肺蘇生訓練

「あら、意外と簡単！」——お母さんのアドバイスでAEDの使用法を体験。



仮設トイレの組み立て

初めての挑戦のため、説明書を見ながら四苦八苦(写真右)。30分かけてようやく完成(写真右)。



結策訓練

「むずかしい」——互いに見よう見まねで、ロープを使用し「もやい結び」に挑戦。



発電機の試運転

操作法のコツがわからなくて悪戦苦闘(写真右)。エンジンがやっとかかった(写真左)瞬間、拍手喝采。



手芸教室

婦人部

ガーデニング



「この糸が右かな？ 白が左かしら？」
色とりどりの2本のリボンで編みこみ、かわいいリボンレイ・ストラップの出来上がり。
(10月6日 町会館)

「できたー！」——喜びのVサイン
2本のペットボトルを切り、組み合わせて鉢にアレンジ。冬を彩るミニシクラメンとピオラにワイヤープランツ・もみじ葉セラニウムを添えて完成。(11月20日 中原園芸)

昨年後期も小田中町会では、随所で活気ある行事が見られました。盛り上がったイベントを写真で振り返って見てみましょう。



秋祭り



意気衝天に台風も退散(?)

斉藤町会長を中心に接待役の女性陣が本神輿の前に勢ぞろい。その気迫に台風も退散(?)し、一瞬の晴れ間も。(9月15日)

盆踊り



やわらかなあかりの下で優雅に舞う

元気なハッピー姿のこどもたち、しなやかな浴衣姿のコントラストが印象的でした。(7月27~28日 聾学校)

美化運動

美化部



きれいに清掃し、美化・緑化を推進

車、人通りもまばらな静かな日曜の朝、たくさんの方々の思いやりできれいになりました。(9月29日)

グランドゴルフ大会

体育部



すてき、この笑顔!

例年のない猛暑日が続く夏の日、体スッキリ!そして、こどもたちとの触れ合いに心なごむ一日でした。(7月7日 聾学校)

餅つき大会

こども会



うーん!見た目よりずっとおも〜いよ

雪のように真っ白なもち米のほかほかごはんを臼と杵を使い出来上がり。機械化の時代に貴重な体験でした。(12月1日 町会館)

歩こう会

すみれ会



江川せせらぎ遊歩道をウォーキング

黄色やオレンジに色づく葉。道端に咲く草花を見たり、おしゃべりしながらゆったりと水や緑にあふれた遊歩道の散策を楽しみました。(11月26日)

こだなかガーデニングクラブが発足

「ウェア、きれいな！」
 昨年11月24日、上小田中高架下公園に隣接するツツジの緑地帯の周辺に、花壇が完成。パ
 ンジー・シクラメン・葉牡丹・ストックの美
 の競演に、道行く人々も立ち止まって、目を細める光景も。

心安らく「美の競演」

「以前は、空き缶・たばこ
 の吸殻のポイ捨て、自転車、ラジオカセット等の不法投棄もあり、ツツジの緑地帯が死角となつて公園内で遊ぶ幼児の姿も見えないほどでした。不審者も多いだけに、とても心配で……」と発起人の市川延子さん。
 こうした難題を解消するために、「こだなかガーデニングクラブ」(※メンバーは



1面掲載の上小田中高架下公園管理運営協議会が兼務)を設置。中原区長の承認を得て、ツツジを剪定・間引きし、11月24日、緑地帯の周辺に

花壇づくりを実施。(写真) また、公益財団法人川崎市公園緑地協議会の緑の活動団体に登録し、花壇の維持管理を実施することにな

りました。「この花壇運営を町会全域の美化・緑化の推進力にしていきたい」と、メンバーの夢は大きい。

町会の主な行事予定

- 1月 会報「こだなか」発行
- 〃 (こ)新春風揚げ大会
- 2月 (こ)作品展(市子連主催)
- 〃 (こ)野球部お別れ会
- 〃 役員新年研修会
- 3月 美化運動
- 〃 (こ)子ども夢パーク(津田山)
- 〃 (す)友愛訪問
- 〃 (す)歩く会
- 〃 グランドゴルフ大会
- 5月 通常総会
- 〃 各部総会
- 〃 (こ)運動会
- 〃 (す)区老連演芸大会
- 6月 美化運動
- 7月 グランドゴルフ大会

※(婦)=婦人部 (こ)=子ども会
 (す)=すみれ会
 ※毎月・第1木曜日 町会役員会
 ※(す)毎月・第2木曜日 例会、誕生会

わが町のきりぎりす

相談役 小林 幸悦さん



昭和37年に結婚、ここ上小田中に新居を構える。「当時は、中原駅まで見通すことができ、周囲は水田

でカエルの鳴き声で賑やかだったね」と、懐かしそうに語る。

同46年に衛生部のメンバーとして町会初デビュー。同54年に4部副会長、平成24年5月から1年間、町会長代行として重責を果たす。

こども会・すみれ会・町会に尽力

こども会会長時代に、4部のこども達にダンボールで神輿を作り祭りを楽しませたり、引率して多摩テックなど遠足も、懐かしいと。地域でこどもを大切に育て

地域の発展に寄与した功績は、当町会(昭和48年)・こども会連盟(同56年)・川崎市長(平成3年)からの3枚の感謝状が物語る。今でも、生まれ故郷山形

へ帰ると「グラッチェおじさん」と、人の輪ができる。気さくで明るい人柄はどこでも周囲を和ませてくれる。このたび、町会の歴史を物語る手書きの議事録など貴重な資料を寄贈していただいた。町会の歩みとして大切に保管しておきたい。これも長きにわたり町会役員として、手腕を発揮してきた賜であり感謝は尽きない。氏の言葉を借り「グラッチェ(ありがとう)」。

★花を植えたり公園を清掃したり、町をきれいにすることは地域の発展につながる。皆の力で「住みたい町・安心の小田中」を目指そう。
 ★町会一筋、地域貢献の小林相談役の生き方から、地域を安全の大地にするという強き心が大切だと学ぶ。
 ★広報紙「こだなか」も今回で30号を発行。町会の記録を留めるべく明るく楽しい紙面づくりに尽力したい。

編集後記